

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC 2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)戸田市川岸2丁目物流施設	階数	地上4F
建設地	埼玉県戸田市	構造	S造
用途地域	工業地域、無指定	平均居住人員	423 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2022年2月14日
敷地面積	27,872 m ²	作成者	前田建設工業(株)
建築面積	1,649 m ²	確認日	2022年3月19日
延床面積	62,349 m ²	確認者	前田建設工業(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.2**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.7**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	倉庫の執務エリアの計画であるため、十分な天井高を確保し、執務環境を良くするように努めた。また事務室も十分な広さを確保し、将来的な要求にも対応できるように計画した。	
その他		
Q1 室内環境	全面的にF☆☆☆☆の材料及びVOC放散量も少ない建材を使用した。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	事務室及び執務室は天井高及び十分な床面積を確保し、快適な執務空間を計画した。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内にて既存樹木を残置し、敷地内に緑地を十分に計画した。	
LR1 エネルギー	設備システムの効率化を行っている。	LR3 敷地外環境
LR2 資源・マテリアル	使用材料は分別可能な材料を使用している。	騒音規制法に定められる数値以下として、騒音に配慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)戸田市川岸2丁目物流施設計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.2
Q1 室内環境					0.31		-		2.9
1 音環境				2.6	0.15	-	-		2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-		
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能				3.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				2.4	0.25	-	-		2.4
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-		
1 昼光率				1.0	0.60	-	-		
2 方位別開口					-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-		
3.3 照度				2.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.5	0.25	-	-		3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の採用			4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.8
1 機能性				4.3	0.40	-	-		4.3
1.1 機能性・使いやすさ				3.6	0.40	-	-		
1 広さ・収納性	1人当たりの執務スペース約 38.02㎡			5.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画	望ましいレベルを満たしている。			3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.6	0.30	-	-		
1 広さ感・景観	天井高さ:3.0m以上確保			5.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース22.90%、自動販売機設置。			5.0	0.33	-	-		
3 内装計画	2)倉庫は梁下有効5.5m以上確保し、機能性に配慮し計画した。 カフェテリアにはリフレッシュする場として木など自然を感じられる空間を計画した。 事務所は天井高さを十分確保して、圧迫感のない執務空間とした。 3)カフェテリアはリフレッシュできるように木を取り入れ、落ち着いた内装計画とした。エントランスは来客を迎え入れる場として、落ち着いた照明及び内装計画とした。 4)3Dモデル及びインテリアパースによって検討を行った。			4.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				5.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	①防汚性の高いビニルクロスを採用している。 ②防汚性の高いタイルカーペットを採用している。 ③倉庫内はコンクリート打ち放し補修のため、水洗い可能。 ④各室の平面形状を極力整形とし、ホコリが溜まらないように配慮。 ⑤メインエントランスの風除室にて1次扉と2次扉の離隔距離を十分確保している。 ⑥維持管理方法が大きく異なる材料を近接させていない。 ⑦外壁に防汚性の高い金属サンドイッチパネルを採用している。 ⑧外壁金属サンドイッチパネルとRC腰壁との取り合い部分に水切りを設けている。 ⑨ランプウェイ及び車路の天井の一部に防鳥ネットを設置している。 ⑩外部に露出する金属部材は溶融亜鉛めっき仕上げとしている。 ⑪内装・外装ともに極力段差のない設計としている。			5.0	0.50	-	-		

	2	維持管理用機能の確保	②清掃員控室と管理倉庫を十分な広さとした。 ③清掃用具室に洗い場を設け、安全な排水経路を確保した。 ④洗濯及び乾燥できるスペースを設けた。 ⑤ゴミ置場を道路に近い位置に設け、十分な広さを確保した。 ⑥フロア毎に清掃用流しを設けた。 ⑦清掃作業に配慮し、電源レイアウトを計画した。 ⑧床材に応じた清掃用の電源コンセントを計画した。 ⑨清掃時に適切な照度計画とした。 ⑩PSのバルブを点検口にて用意に点検できる計画とした。 ⑫共用部にて維持管理が可能な計画とした。	5.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	1.00	-	-	
	2	免震・制震・制振性能		-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出部はステンレス製もしくはガルバリウム鋼板製としている	4.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	B種以上を使用し、E種以上は使用していない。	5.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.8	0.30	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			3.8	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高6.0m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		2.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		倉庫床荷重、事務所床荷重を15,000N/m ² 将来対応以外の事務所床荷重を5000N/m ² (1Fと2F)	5.0	0.30	5.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	[BP][BPIm]= 0.63	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BE][BEIm]= 0.45	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	水栓に節水コマを用品	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	路盤:再生クラッシュランRC-40、休憩所:再生木材ルーバー	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS+仕上げ	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		4項目に該当。 ・ハマタイト スーパー II NB(基剤)同等品→サッシ用シーリング、タイル用シーリング、打継目地 ・ハマタイト、スーパー II NB(硬化剤)同等品→サッシ用シーリング、タイル用シーリング、打継目地 ・ハマタイト SS-310同等品→ガラス用シーリング材	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	
2 地域環境への配慮			3.1	0.50	-	-	3.1
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	

	3	交通負荷抑制	管理用車両や荷捌き車両の駐車施設確保。待機スペースを確保し、交通渋滞の緩和に努めている。	5.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.50	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.50	-	-	
	2	振動		3.0	0.50	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)戸田市川岸2丁目物流施設	BEE	1.7	BEEランク	★★★★
------	------------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	2.6	=	2.6 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

 : 入力欄